

# 明日の流山を考える



## 危機的な財政状況

## 深刻な財源不足

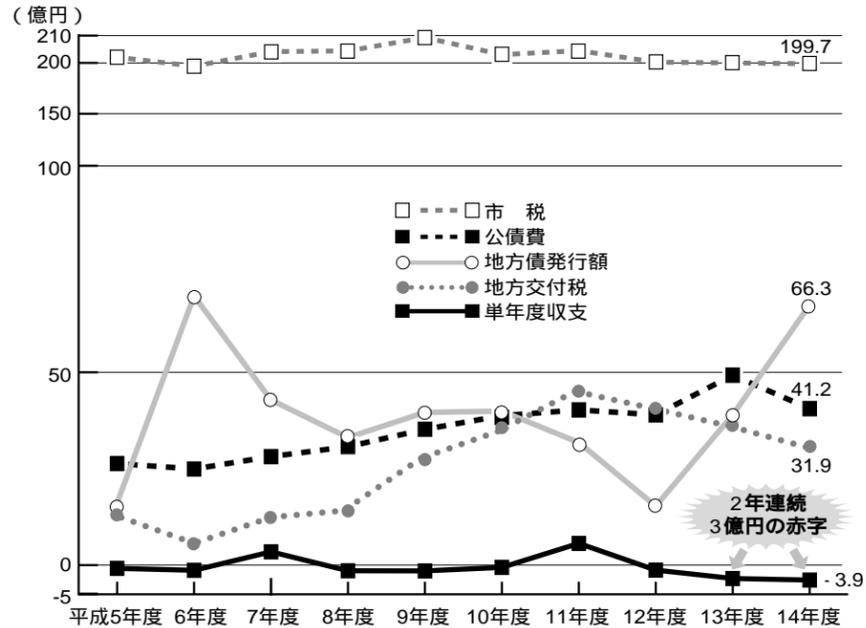
長引く景気低迷や高い失業状況から、国の財政は極めて厳しい状況にあります。国が六月に発表した「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2003」の中にも、わが国は、先進国中最悪の危機的財政状況で、今後、財政破たんになる恐れがあると明言されています。地方財政も例外ではありません。流山市においても、市民の皆さまに納めていただいている市税の近年の減少傾向に加え、国からの地方交付税の減額は、市税の減額を大幅に上回るものとなっています。反面、

国や地元の銀行、農業協同組合などからの借金は、年々増加しています。このような状況を受け、最近二年間の流山市の単年度の台所事情は、実質的に赤字状態となっています。一方、今後の財政需要は、今までは比較にならないほど多くの負担が予想されます。今号では、流山市の危機的財政状況を分かりやすくお知らせすることで、市と市民の皆さまが情報を共有し、共通の認識に立つて、共に「明日の流山」を考えていきたいと思っています。

### 平成17年度までに

### 約22億円が不足

流山市の財政状況は、単年度収支(その一年間だけの収支)を見ると下の図のとおり、平成十三・十四年度と赤字となっています。つまり、過去から繰り越されてきたお金を除くと、赤字になっているということです。また、現在、計画されている事業のすべてを予定どおり実施すると、平成十七年度までの間に約22億円の財源不足が見込まれています。このように、流山市の財政状況は、まさしく非常に厳しいものです。しかも、すぐ目の前には、市民の生命に直接影響のある事業やつくばエクスプレス関連事業、あるいは、流山市の将来の魅力あるまちづくりに不可欠な事業が山積みです。例えば、小・中学校



歳入の半分を占めている市税の総額は、景気の低迷や減税などの影響を受け、平成九年度の210億円をピークに減少し、平成十四年度は、平成九年度と比べ約10億円の減収となっています。これは、五年間で4.9パーセントの減少で、例え

### 歳入が減少

ば、年収500万円の家庭では約25万円の収入減となった形です。原因は、市税総額の半分を占める市民税が年々減少しているためです。また、地方交付税は、国の予算が年々少なくなっているため、流山市においても平成十一年度の45億円をピークに減少し、平成十四年度で13億円減の32億円となっており、地方債は、毎年17億円から68億円程度借りています。一方、公債費は、26億円から49億円程度償還している状況です。このように、市税や地方交付税という大切な歳入が減少し、借金である地方債が増加しているという非常に厳しい台所事情です。

事業・サービスをもう一度、原点に立ち戻って、市民の目線で「使えるサービスかどうか、使い易いサービスかどうか」など効果を評価して、事務事業の整理統合や抜本的な事業の見直しなどを行い、財政破たんを回避できるようにしていかなければなりません。

また、地方交付税は、国の予算が年々少なくなっているため、流山市においても平成十一年度の45億円をピークに減少し、平成十四年度で13億円減の32億円となっており、地方債は、毎年17億円から68億円程度借りています。一方、公債費は、26億円から49億円程度償還している状況です。このように、市税や地方交付税という大切な歳入が減少し、借金である地方債が増加しているという非常に厳しい台所事情です。

# 市の家計は大丈夫？ みんなで考えよう！ 財政Q & A



## 国の財政状況は？

● 国はどのくらい厳しいの。  
● すごく厳しいよ。企業なら倒産だよ。国と地方の借金を合わせると700兆円にもなるんだよ。国も財政破たんになる恐れがあると認めているんだよ。

## 全国の市町村の財政状況は？

● 市町村の状況は？  
● 全国的に自治体の財政は、火の車になってきているよ。14年度の財源が不足する額は10兆円を超えているんだよ。借金も195兆円もあるよ。税金などの財源が3パーセントしかなくて、全部国のお金でやり繰りしている自治体もあるんだよ。

## 流山市の財政状況は？

● じゃあ、流山市はどうなの。  
● とても厳しいよ。  
● どのくらい厳しいの。  
● 16・17年度の必要としている仕事をすべて行うと、2年間で22億円もお金が足りなくなっちゃうんだよ。  
● ヘー。じゃあ、お金がなくて、できない仕事はどうなるの。  
● お金を切りつめたり、貯金をおろして仕事をするか、18年度以降に先送りするんだよ。

## そんなに厳しいの。

● そうだよ。それだけではなくて、子どもたちの学校が古くなって、大きな地震に耐えられる心配なんだよ。これをできるだけ早く工事することになっていて、18億円くらいかかるんだよ。

## 収入はだんだん減っていくの。

● そうだよ。景気が悪いから、会社が支払う税金も減っているし、働いている人の年収が減っているから、税金も減るんだよ。  
● どのくらい税金は減っているの。  
● 17年度には、14年度より10億円くらい減るんだよ。

## 国からもらえるお金(地方交付税)も少なくなるんだよ。

● そうなんだ。14年度は11年度にもらったお金より、13億円くらい少なくなっているんだよ。国は、足りなくなつた分は、国から借金をしなさいと言っているんだよ。  
● じゃあ、借金がますます増えるじゃない。

## 流山市の借金はどのくらいあるの？

● 話を聞いてみると、だんだん心配になってきちゃった。借金はどのくらいあるのかな。  
● この10年間で見ると、17・68億円くらい借金してんだよ。返済は、マイホームのローンみたいに、年26・49億円くらい国や銀行に返しているんだよ。今までの借金は、積みもり積もって375億円くらいになるよ。

## それじゃあ、大変だね。

● 流山市の一般会計予算と同じくらいだね。  
● そうだね。例えば、1000万円の施設を建てると、国が750万円貸してくるんだよ。自分のお金は250万円だけでいいんだよ。  
● だけど、借金がどんどん増えていくんじゃないの。  
● そうだよ。新しい施設を造ると借金がなくなるんだよ。

## 案外、たくさんあるんだよ。

● そんなことはないよ。借金が4倍くらいあるんだよ。  
● そうだね。安心できないね。

## 収入が減って市の仕事は？

● お金がなくなると、市の仕事はどうなるのかな。  
● 家庭に例えると、毎日の食事を取ったり、電気代や水道代などの生活費(経常経費)を切りつめないといけない車を買ったり、家を建てることは難しいんだよ。つまり、新しい道路や学校を造ったりするのにお金が足りないんだよ。だから、みんながたくさん、いろいろな要求をしても、お金は出せないんだよ。  
● じゃあ、みんなで考えないといけないね。

## 将来、流山市は倒産しないの？

● すごく心配だね。  
● 流山市は、倒産(財政再建団体)しないのかな。  
● だから、みんなに現状を知ってもらいたいんだよ。そして、みんなで考えていかなければいけないんだよ。  
● 市は今、何をしようとしているのかな。

## この間、市長などの給料を20パーセントカットしたよね。

● 市長車も廃止したよ。  
● そうだね。広報紙もモノクロになったよ。  
● 市も少しは考えているね。  
● これからだよ。7月に行政改革推進課をつくったでしょ。この課は、お金をより有効に使うため、すべての仕事を見直したり、今までより、市民が使いやすい

## 流山市の貯金

市には、約124億円の基金があります。これは、家計に例えると貯金に当たるものです。貯金にいろいろ種類があるのと同じように、基金にもいろいろ名前が付いています。代表的なのは、財政調整積立基金、減債基金、特定目的のための基金の三つです。財政調整積立基金は、収入が少な

## 流山市の借金

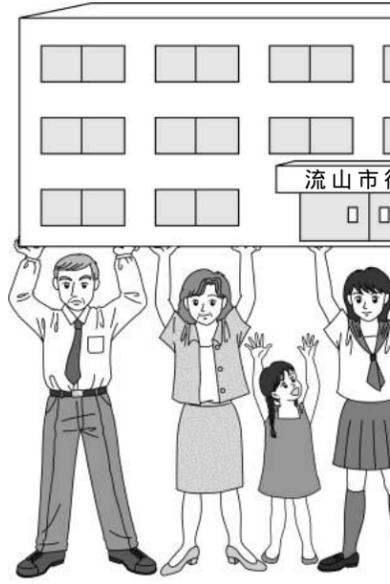
市債は、家計に例えると借金に当たるものです。家計であればローンで車や家を買つたのと同じように、市は、お金を国や銀行から借りて、道路や学校、公園などを造っています。市債は、借金ですが、これらを作るための負担を将来利用する新しい市民にも負担をして

## 近隣市の財政状況

自治体の財政の豊かさを表す指標に財政力指数があります。指数が高いほど豊かな自治体と考えられます。この指数が「1」を超えると通常、国からもらっている地方交付税がもらえなくなり、浦安市、市川市などを含め、全国の三千を超える自治体のうち、約3パーセントしかありません。ほとんどの自治体は、地方交付税を国からもらっています。

常収支比率(%)	公債費比率(%)
89.4	13.6
86.4	15.3
83.6	10.3
85.8	15.4
88.2	9.6
74.4	9.5

# 流山



## 国と地方の財政事情

### 700兆円の借金 千葉県は82億円の赤字

今、国、地方を合わせた借金の残額は、700兆円にも及び、歳出に占める公債費の割合が増大する一方、新しい事業に投資できる経費の割合が大幅に低下し、財政の弾力性が失われつつあります。

平成十五年度の国の財政を家計に例えた場合、月収55万円のうち、田舎への送り(地方交付税)21万円、ローンの返済(公債費)の元利償還金)に20万円が必ず支出しなければならぬ経費となっており、残る14万円では、生計を維持することができないため、新たなローンを組むという状態に陥っています。このような状況から、国では、構造改革をさらに本格的に推進するため、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2003」で新たに基本方針を打ち出しました。これ

までの古い制度や政策手法が限界に近づいており、国は、先進国中最悪の危機的財政状況の中で、「持続可能な形での政策運営を迫られています。また、国と地方の関係では、地方への税源移譲、地方交付税、国庫補助負担金減額という三位一体の改革が進められ、地方自治本来の姿の実現を図っていくこととなっています。

が、地方への税源移譲が先送りされたまま地方交付税や国庫補助金が削減されようとしています。

一方、千葉県では、「千葉県財政再建プラン(平成十五~十七年度)」を策定し、「財政再建団体への転落回避に向けた取り組みに着手したところですが、平成十四年度決算が82億円の赤字となる見通しとなりました。これは、歳入額の05パーセントに相当します。さ

それじゃあ、ますます大変だ。

**流山市の収入源はどっから入っているの?**

税金とかが国がくれるお金(地方交付税、補助金)だよ。足りない分は、国や銀行から借金しているんだよ。

借金を続けるとどうなるの?

財政破たんになると思うよ。

**流山市の貯金はどのくらいあるの?**

124億円くらいあるよ。

私たちが、市政へのメーイルなどで良いアイデアや意見を市長に伝えたり、市と一緒に考えないといけない。

そうだよ。情報を共有して、一緒に考える時代なんだよ。

## 流山市のあゆみ

流山市は、昭和四十二年一月一日、県下で二十番目の市となり、当時四万三千人だった人口は、ことし四月には十五万二千人と三・五倍。そして、皆さまに納めていただいている市税は、昭和四十二年には、3億円でしたが、平成十四年度決算見込みでは、約200億円と六十六・六倍になりました。予算規模については、昭和四十二年の7億

円が、平成十四年度では、378億円と五十四・〇倍に増えています。

市制施行以来、市の歳入の大半を占める税収の増加と、バブル期までの好景気により、都市基盤の整備として、道路、公園、排水路、下水道等の整備、生活環境の整備として、ごみ焼却場、コミュニティホーム、消防庁舎等の建設、教育・文化の向上として、幼稚園、

昭和四十二年からの指標を分析しますと、財政力指数については、「1」に近づいてきていますので、流山市の財政は力を付けてきたように見えますが、一方で経常収支比率、公債費比率も上昇しています。つまり歳入は増えていますが、その使い道は、近年では公債費、人件費、扶助費等の絶対必要経費(経常的経費)に使われ、新しい道路や公園等を建設するための経費(投資的経費)が逆に減ってきているのが現状といえるでしょう。

流山市の財政状況

区分	昭和42年度	昭和45年度	昭和50年度	昭和55年度	昭和60年度	平成元年度	平成5年度	平成10年度	平成13年度	平成14年度
財政力指数	0.670	0.495	0.516	0.646	0.798	0.887	0.894	0.874	0.815	0.834
実質収支比率(%)	5.0	6.8	10.0	32.0	6.8	5.2	4.2	3.8	4.6	3.2
経常収支比率(%)	76.2	63.3	87.7	76.2	77.3	68.9	79.5	89.2	86.1	89.4
公債費比率(%)	8.6	6.9	17.7	11.2	12.7	11.5	10.9	13.7	13.1	13.6

## 用語解説

- 財政力指数**  
数値が「1」以上ならば生活費よりも収入が上回っている状態です。ただし、それ以下であれば、収入が不足するので、国からの助けが必要です(基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3カ年間の平均値である。地方交付税制度では、財政力指数が「1」を上回ると基準財政収入額に余力があるとされるが、逆に「1」を下回ると標準的な行政を行う財政力がないとされ、その不足する分について普通交付税として交付される仕組みとなっている)
- 実質収支比率**  
家庭の収入を月30万円、毎月の出費は平均29万円とすると、毎月1万円残ります。この1万円の収入月額30万円に対する割合が実質収支比率です(一般財源の標準規模に対する実質収支額の割合をいう。実質収支比率が黒字の場合、一般的におおむねその割合は、3~5パーセント程度が望ましいとされている)
- 経常収支比率**  
家庭の収入が毎月30万円の場合、その使い道は、食費11万円 光熱水費7万円 住宅ローン5万円 貯金3万円 お小遣い等3万円、+ + =23万円(必ず必要なお金)の月収30万円に対する割合が経常収支比率です(地方公共団体の財政構造の弾力性を測定する比率として使われる。市税、譲与税などの一般財源のうち、経常的に収入される財源が、人件費、扶助費、公債費などの義務的性格の経常経費に対して、どの程度充当されているかを見るものであり、この数値が低いほど財政の弾力性があり、都市にあっては、75パーセント程度が妥当とされている)
- 公債費比率**  
住宅ローン5万円の月収30万円に対する割合(一般財源に占める地方公共団体が、借り入れた地方債の元金償還および利子の支払いに要する経費(公債費)の割合で、通常財政構造の健全性がおびやかされないためには、この比率が10パーセントを超えないことが望ましいとされている)
- 単年度収支**...前年度からの繰越金を除いた単年度だけの歳入と歳出の差
- 市税**...市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税、都市計画税など
- 地方交付税**...地域間の財政力の不均衡を調整するため、いったん国に集めてから都道府県や市町村へ交付されるお金
- 地方債**...市の借金。大きな負担を20年ぐらいで均等にならしたり、負担の世代間の公平を図ったりする機能を持っている
- 公債費**...市が国や銀行から借り入れた地方債の元金と利子の償還金

新しい市民ニーズに答えら

市名	財政力指数	経常収支比率(%)
流山市	0.834	89.4
松戸市	0.875	86.1
野田市	0.923	83.2
柏市	0.934	89.4
我孫子市	0.864	88.7
浦安市	1.377	74.1

平成14年度決算統計から

# 生き残りを考える

## 財政再建団体だった赤池町の事例

皆さまは、「財政再建団体」という言葉をご存知ですか。赤字が大幅に膨らんでしまい、自主再建が困難な自治体を救済するため、地方財政再建促進特別措置法を準用し、国・県の指導に基づき財政の立て直しを行う自治体のことです。実質収支比率で20パーセント以上の赤字となった場合に財政再建団体になるといわれています。財政再建団体になると、歳入増の計画や歳出減の計画といった「財政再建計画」を立て、財政の立て直しを行わなくてはなりません。

そのほか、町民球場やテニスコート、町民会館ホールなどの公共施設の使用料、町営住宅の家賃、学校給食費などは、町の助成や軽減措置がなくなり、国の基準にまで引き上げられ、20パーセント前後のアップとなりました。歳出を抑えるため、役場の課の数や職員数の削減、給与の据え置き、時間外手当の削減、町長をはじめ特別職の報酬も全国最低レベルとするなど、人件費の削減も行われました。また、歳出の抑制は、町の事業運営にも支障をきたしました。町の予算が少なくなりました。町の予算が少なくなりました。町の予算が少なくなりました。

それでは、財政再建団体になると、どうなるのでしょうか。収入については、住民負担となる使用料などの増額を、歳出については人件費の抑制や住民団体な

進めなければなりません。つまり、住民の要望にすぐ対応できないという問題も生じてくるのです。

このように、財政再建団体になるとさまざまな問題が生じてきます。さらに、国民健康保険事業や介護保険事業においては、市町村の独自財源による一般会計からの繰入金も制限されることなどから、保険料を大

## 流山市の

## 今後の取り組み 市民に役立つ行政へ

今回、「広報ながれやま 財政事情特集号」を作成したのは、市民の皆さまに流山市の現状を理解していただきたかったからです。また、流山市だけではなく、国と地方の財政事情や千葉県の財政事情を知ることにより、国・県と流山市の関係、すなわち、全国の市町村がどれだけ国に依存しているか、その依存している国がどれほど苦しい財政状況かというのを理解していただけたのではないのでしょうか。単年度では赤字に

なっている市町村がほとんどですが、内情は、国からもらっているお金で何とかやり繰りしているのが実情です。市税だけでは、今の行政サービスを持続することはできません。経済も依然として低迷し続けています。さらに地方分権による業務量の増大や少子高齢時

代への突入など、時代は大きな転換期により、先行きは混とんとしています。このため、市民の皆さまと情報を共有し、今後の行政サービスのあり方について、共に知恵を出し、工夫しながら考えていきたいと思っています。そして、市役所がまず率先してやらなければならぬ課題は、市民の税金を一元まで活かす市政を実現するための基盤強化と行政改革の断行です。

そのための序章として、市役所の約千件全ての事業を改革の対象として見直し作業を行ったところ、現在執行中の平成15年度当初予算額(一般会計および水道企業会計の合算額約480億4200万円)の約1パーセントに相当する約4億3000万円の改革プラン(プランの内容は、市役所のホームページおよび情

行財政改革は第4次流山市行政改革大綱を指針として推進します。

1円まで活かす市政  
まちの可能性を最大限引き出すまちづくり  
活力あるまちの創造

重点事項の推進は11月に設置を予定している行財政改革審議会の意見を反映させます。

↓

**行財政改革審議会**

《第4次流山市行政改革大綱実施計画:重点事項》

NPO、ボランティア団体等の育成	市民と行政の協働によるルールづくり	監査機能の充実	行政の公平性・透明性の向上	入札制度の透明性の向上	公表・公開の見直し
行政評価システムの軌道化	民間活力の活用推進	バランスシートの作成	ペイオフ対策	市税収入の確保	受益者負担の適正化
未利用地の有効活用	内部管理的な経費削減	必要な事業費の配分	補助金等の見直し	外郭団体への支出削減	職員定数の適正化
給与制度の適正化	組織の再構築	附属機関等の見直し	人材育成に関する計画の策定	職場風土の醸成	研修内容の充実
人事制度の見直し	事務事業の電子化の推進	窓口業務等対応の改善	行政サービスの総合化の推進	公共施設の利用促進および利用見込み等の多角的検討	公共施設等管理運営の見直し

↑

市民

↓

議会

市民に役立つ行政サービスの確立

これがこれから検討する項目だね。

大変だけどがんばらなくちゃね



皆さまのご意見・ご要望をお待ちしています

**秘書広報課**

☎ 7150-6063

〔市政へのメールアドレス〕

<http://www.city.nagareyama.chiba.jp/mail/mail.html>

「広報ながれやま」は再生紙を使用しています